

新たな施設整備計画の策定に向け、「第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画(平成18年度～平成22年度)」(以下「第2次5か年計画」という)において整備した施設の教育研究等への成果・効果について、次の2つの方法により検証を実施

- ① 国立大学法人等の長や整備した施設を利用している教員等を対象としたアンケート調査による検証
- ② 5か年計画期間中に整備された個々の施設における成果・効果についての具体的な整備事例による検証

第2次5か年計画の基本方針に基づき 重点的・計画的な施設整備を実施

【基本方針】

老朽施設の再生を最重要課題とした上で、以下の整備を図る

(1) 人材養成機能を重視した基盤的施設の再生

- ・創造性豊かな人材、国際的に通用する人材等の人材養成機能の強化
- ・大学院教育の実質化等の教育内容・方法の改革・改善への対応
- ・個性・特色ある教育内容・方法の展開
- ・若手研究者が自立して研究できる環境の確保
- ・宿舎や福利厚生施設等の生活面の環境の確保

(2) 卓越した研究拠点の再生

- ・優れた教育研究機能を持つ世界水準の独創的・先端的な学術研究の拠点形成
- ・国内外の優れた研究者や学生を惹きつける研究環境の確保
- ・地方公共団体、民間企業との共同研究など社会等との連携協力を推進する研究境の確保
- ・国家的・社会的課題への対応など他大学や公的研究機関との共同研究等の連携協力を推進する研究環境の確保

(3) 大学附属病院の計画的な整備

- ・医療系人材の教育・養成
- ・臨床医学発展と医療技術水準の向上への貢献
- ・地域の中核的医療機関としての機能充実



① アンケート調査による検証 (詳細は別添1参照)

○ 学長等に対するアンケート調査

- ・基本方針に沿って施設整備の効果や施設の現状の満足度等を調査
- ・その結果、基本方針の内容について、「効果があった」等との回答が約9割であり、一定の効果が現れている
- ・一方、施設の現状の満足度については、ほとんどの項目で「不満」等との回答が約7割であり満足度が低い

○ 教員等の利用者に対するアンケート調査

- ・整備した施設の教育研究等への効果や施設の現状の満足度等を調査
- ・その結果、学習意欲や研究意欲の向上、教育・研究・診療等の進展等について、「効果があった」等との回答が約8割を超えており、一定の効果が現れている
- ・また、効果を発現するため、新增築や諸室の集約化等による新たなスペースの確保や施設の高機能化等が有効であったとの回答が多い
- ・一方、施設の現状の満足度については、ほとんどの項目で「不満」等との回答が約7割であり満足度が低い

② 具体的な整備事例による検証 (詳細は別添2参照)

○ 基本方針に沿って、具体的な整備事例に基づき、教育・研究・診療等への成果・効果を検証

